

中国人大学生における性格特性が学校適応感に影響するプロセス

—とりあえず進学を中心として—

○王彤鶴¹・上市秀雄²

¹筑波大学大学院システム情報工学研究群・²筑波大学システム情報系

研究概要

研究背景:

- 中国では、大学入試(高考)の受験者が多いため、多くの大学が定員を増やし、入学人数が増加している
- 同時に、90%以上の学生が学業や学校生活、将来の進路に対する不安や迷いを抱えている (大学生成長白書, 2017)

この原因の一つに「**とりあえず進学をする学生の増加**」がある (青木, 2021)

研究意義:

とりあえず進学が学生の心身健康に与える影響を明らかにし、進路指導の改善に役立てる

研究方法

調査対象: 中国の大学に在籍している大学生502名

調査時期: 2023年11月上旬にWeb調査を実施した

質問項目 5段階評価 (1.当てはまらない~5.当てはまる)

- 基本属性:** 学校ランク、専攻
- 性格特性 (25項目):**
 - 情緒不安定性5項目 (よく恐れを感じる); 誠実性5項目 (計画性のある); 調和性5項目 (ほとんどの人は基本的に善意だと思う); 開放性5項目 (リスクを冒すのが好きだ); 外向性5項目 (活発である)
- とりあえず進学行動 (3項目):**
 - 大学で学びたいことが特になかったが、その大学に進学した
- とりあえず進学理由 (23項目):**
 - 目標探求6項目 (自分の得意なものを見つけるため); 他者依存4項目 (親が喜ぶから); モラトリウム5項目 (他のやりたいことがなかったから); 身分の保証8項目 (高卒だと選択肢が狭いと思うから)

学校生活 (19項目)

- 教師との関係6項目 (先生は自分の相談に乗ってくれる); 友人との関係7項目 (友達と一緒にいると楽しい); 学業6項目 (一生懸命勉強している)

進学後悔 (15項目)

- 選択による後悔4項目 (他学科・他学校を選んだ方がよかった); 重要性による後悔3項目 (この学位が必要がないので、後悔している); 考え不足4項目 (もっとよく考えればよかった); 考えすぎ4項目 (私は進学に対する決断をするのに多くの努力を費やした)

学校適応感 (28項目)

- 居心地の良さ9項目 (幸せである); 課題・目的の存在7項目 (成長できると感じる); 信頼感・受容感6項目 (周りから期待されている); 劣等感の無さ6項目 (嫌われていると感じる)

研究目的:

- ①学校ランクや学科別における**とりあえず進学行動の違い**を探究する
- ②とりあえず進学する学生と、とりあえず進学しない学生の**学校生活、進学後悔、学校適応感の違い**を明らかにする
- ③とりあえず進学行動に**影響する要因**と、とりあえず進学行動が**学生の心身健康 (学校生活、進学後悔、学校適応感) に与える影響**を探究する

性格特性

とりあえず進学理由

とりあえず進学行動

学校生活

進学後悔

学校適応感

研究結果

結果① 学校別・学科別とりあえず進学行動の差

- 学校ランク別・学科別による差は見られなかった

図1 学校別によるとりあえず進学行動の差 (分散分析)

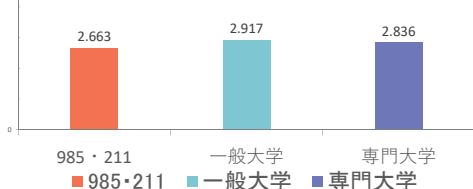
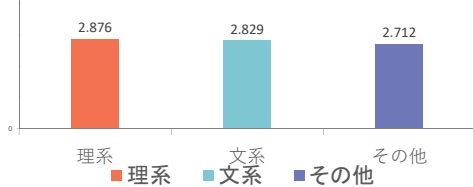


図2 学科別によるとりあえず進学行動の差 (分散分析)



結果② とりあえず進学の程度による差異

- とりあえず進学高群の「**学業**」の平均値は、とりあえず進学低群より**低い**
- とりあえず進学高群の「**課題・目的の存在**」「**劣等感の無さ**」の平均値は、とりあえず進学低群より**低い**
- とりあえず進学高群の**進学後悔**の平均値は、とりあえず進学低群より**高い**

図3 とりあえず進学行動の程度による学校生活の差異 (t検定)

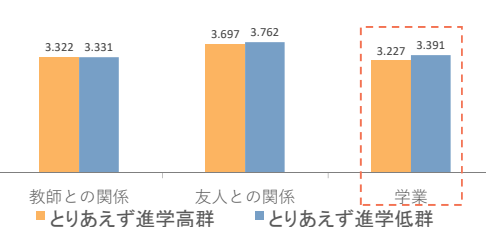


図4 とりあえず進学行動の程度による学校適応感の差異 (t検定)

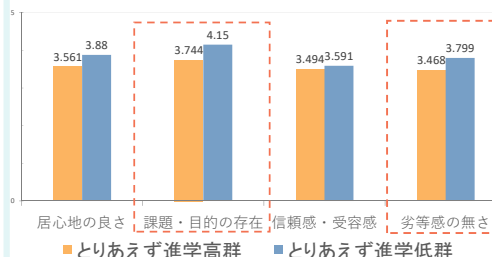
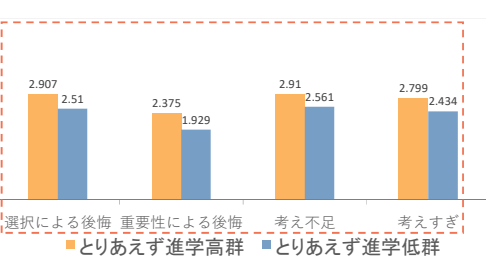
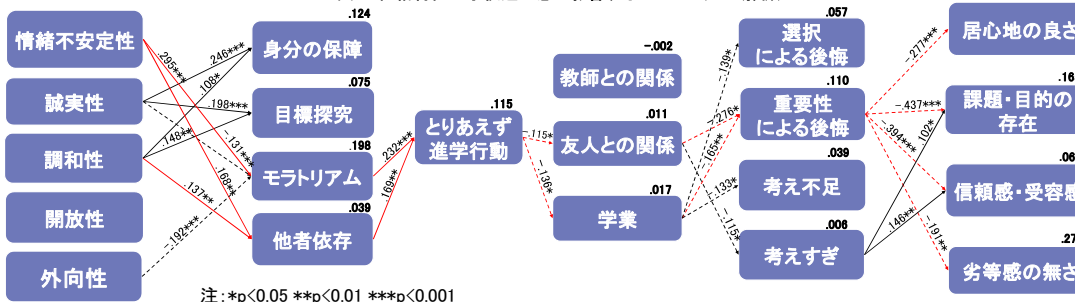


図5 とりあえず進学行動の程度による進学後悔の差異 (t検定)



結果③ 性格特性が学校適応感に影響するプロセス

図6 性格特性が学校適応感に影響するプロセス (パス解析)



まとめ:

- とりあえず進学は学校ランクと学科には影響されない
- とりあえず進学をする人は、**成績**が良くなく、**目標**がなく、**劣等感**を感じやすく、**後悔**しやすい
- 情緒不安定性**や**調和性**が高いの人は、**モラトリウム**や**他者依存**の傾向が強く、とりあえず進学をしがちである
- とりあえず進学をする人は、**友人関係**や**学業**に問題を抱え、**後悔**しているため、**学校不適応**を感じている

参考文献:

Kural, A. I., & Özyurt, B. (2023). Why some students adjust easily while others can not? Stress and adjustment to university: Personality as moderator. *Journal of College Student Retention: Research, Theory & Practice*, 25(3), 594-612.